

身体への負担が少ない血管内レーザー治療による

# 下肢静脈瘤の手術を日帰りです

四谷・血管クリニック

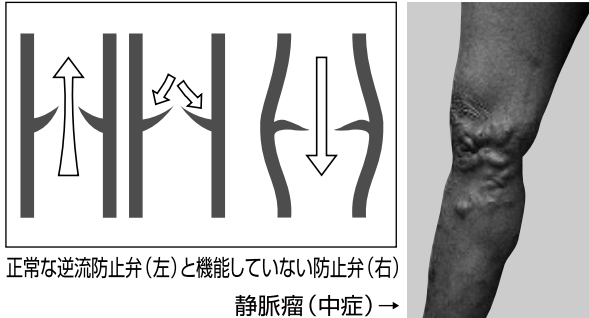


保坂 純郎 院長

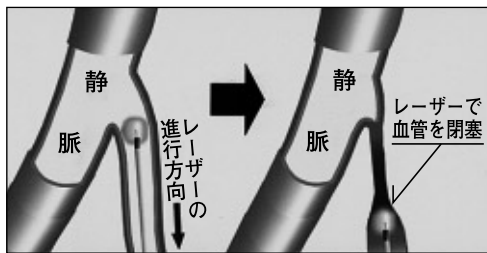
**院長略歴**  
 1986年 日本医科大学卒業  
 1989年 日本医科大学放射線科医員助手  
 1989年 ノルウェーオスロ大学留学  
 1999年 日本医科大学講師  
 日本医学放射線学会認定放射線科専門医

ひざの周りや、ふくらはぎに血管が浮き出て見えたり、瘤のようになり、やがて足の重さやだるさ、むくみを感じるようになる。

これが下肢静脈瘤の症状で足の静脈内にある血液の逆流を防ぐ弁が正常に働かなくなることによって発症す



正常な逆流防止弁(左)と機能していない防止弁(右)  
 静脈瘤(中症)→



下肢静脈瘤の血管内治療法

る病気であり四十歳代以上の中老年の方々に多く見られる。一般的には女性に多いが、年齢が高くなると男性にも発症例が増え、放置すると湿疹、皮膚の変色、潰瘍等を発症し、またエコノミークラス症候群等の合併症を引き起こしやすくなる。

四谷・血管クリニック(保坂純郎院長)は、この下肢静脈瘤の治療を中心としたクリニックとして昨年四月に開院。「患者様の気持ちに立つて診療に当たる」という基本方針で「患者様の病気静脈瘤」の原因や治療方法に

関し、また別の選択肢も含め、できる限りの情報をご提供すること。そして、患者様が納得され、ご自身で治療法を決定していただくことを最も大切にしている。そして治療法に関しては「症状が軽度の場合は、静脈瘤に血管を固める硬化剤を注射する硬化療法があります。中等症から重症の場合は血管を縛る高位結紮術や悪くなった血管を除去するストリッピング手術、そして足の静脈血管内にレーザーを照射して逆流の起こっている血管を閉塞させるレーザー治療法があります。ストリッピング手術の治療効果は高いのですが、全身麻酔や腰椎麻酔を必要とし身



四谷・血管クリニック受付

体に対する負担が大きく日常生活に復帰するまでに時間がかかります。その点、レーザー治療法はレーザーを照射する1ミリ程度のカテーテルを通すだけで行え傷口はほとんど目立たず、治療効果も高いのが特長です。また、高血圧や糖尿病等の持病がある方でも治療が可能です。術前、術後の検査も含めて約1時間と短時間で済み、直後から普段の生活に復帰できます。ただし、レーザー治療法は保険適用外の自由診療となり、費用の負担(標準が約二十七万円、諸経費は別途)は大きくなります」と説明する保坂院長。

1989年から4年間、ノルウェーのオスロ大学で静脈学を学び臨床医として勤務。文部科学省科学研究助成金を3回授与されており、2002年には米国内ネル大学の血管治療センターで研修した、というキャリアを持つ人で、昨年4月、開院から今年の4月末日までの1年間で、302症例の治療実績を持つ。

なお、下肢静脈瘤の検査は超音波検査で行い検査時間は約一〇分。費用は二千五百円(保険適用)です。詳しくはホームページを参照して下さい。

**検査** ↓ 四谷血管  
 東京都新宿区四谷1-8-14  
 四谷1丁目ビル2F(JR、地下鉄「四ツ谷」駅から徒歩2分)  
 ☎03・63380・6252